

2026年3月24日 ビジネス会計人クラブ 第337回定例会 結果報告

- 内 容 相続案件 3,000 件超えの相続専門税理士法人が語る！
最新の失敗事例から読み解く資産税業務のリスクと対処法
- 講 師 税理士法人レディング 代表社員 税理士 木下 勇人 氏

今回は、相続専門税理士法人レディング代表木下 勇人氏を講師に迎え、前回開催時とは異なる資産税業務における失敗事例をもとに、実務上の留意点について詳しく解説いただきました。

木下氏は冒頭、令和 8 年度税制改正で注目される「貸付用不動産の評価」について言及し、不動産・建築業界への影響が大きい重要論点であると指摘されました。

本講演では、小規模宅地等の特例の適用判断や同意取得の重要性、事業承継税制と自己株式取得に関する留意点、生前贈与に関する税務・法務の相違等、多岐にわたる失敗事例が紹介されました。また、生命保険における「形式（契約名義）

と実態（負担者・利益享受者）のズレ」によるミスや、今後増加が予想される国外転出時課税に関するミス、相続税の 2 割加算に関するミス等、税理士が陥りやすい盲点とミス防止策について、法令、通達、裁決等に基づいて解説いただきました。

実務に直結する示唆に富んだ内容となり、参加者にとって極めて有意義な機会となりました。



<主な講演内容>

失敗事例

- (1) 小規模宅地等の特例に関する失敗事例 1（特定事業用宅地等）
- (2) 小規模宅地等の特例に関する失敗事例 2（同意）
- (3) 相続時の自己株式の取得に伴う各種特例に関する失敗事例
- (4) 生前贈与に関する税務・法務の相違に関する失敗事例
- (5) 生命保険契約課税関係に関する失敗事例（個人間名義変更）
- (6) 代償分割に関する失敗事例
- (7) 生命保険契約課税関係に関する失敗事例（法人から個人への名義変更）
- (8) 国外転出時課税に関する失敗事例
- (9) 2割加算に関する失敗事例

本講演は、オンデマンド (<https://bac.gr.jp/channel/>) で受講いただけます。

定例会終了後には講師の木下氏を囲んでの懇親会を行いました。
26名の皆様に参加頂き、楽しい一時を過ごしていただきました。

